

こぼれ話

このコーナーで宮古弁のあれこれを何度となく紹介してきた。とくにお年寄りが宮古弁を使うと独特のイントネーションと混じっていつそう意味不明になる場合がある。生粋の宮古弁ってどんな感じか一言では言い表せないがとにかく独特である。そんなお年寄りのいるある家庭の朝夕の会話は賑やかで、そして楽しい。その日の朝もそうだった。



わが家の

【ニラとかにたまと納豆の炒め物】

「材料」かにたま、ニラ、エノキ、納豆、ごま油、生醤油、出汁の素。「つくり方」ニラも手に入りやすくしかも健康にもいい食材ですよ。このニラをベースにエノキを加え納豆で味付けする炒め物はどうですか。わが家では夫の大好

(千徳/K・S)

サケシンポ

ふ化放流数確保優先の見直しと環境変化に対応すべき

5月31日(木)午後、市内のシートピアなあとで「サケカシンポ」が宮古市主催、岩手日報共催で開催され会場いっぱい120名の参加者でした。

東北水研資源グループ長・高橋史久が講演

朝日田教授は、ふ化放流を右上がりで推進した



講演後は山野目輝雄津量が大きく減少している。その要因は、沿岸から放流しオホーツク海南部に達までの海洋環境の変化、海水温の変化(高温化)がある。資料を使い指摘しました。その上で、水温の違うふ化場での受精卵の入れ替えで「水温の違いを利用」した適時放流、分散型放流、月の満ち欠けに従う稚魚の降下行動に即した放流、あんどを問題提起しました。4人のパネリストによる討論・意見交換

東北水研の高橋氏は、ロシア、アラスカなどは漁獲量が増え全体では高

読者の文芸欄

短歌

泥雑巾取りかえ取りかえ絞る吾、手首の力遂に萎えたる
 ● 獣のいがみあい似愚かなり海の中なる鳴をめぐりて
 ● 自注/どう考えたって真の平和は話し合いでしか生み出すことはできません。

金沢邦臣(田鎖)

市内5校卒業の就職希望者で県内就職率は7割台

実業高卒の県内就職率6割台

三月高卒者



まってきたりとの指摘もありますが、それでも依然として4割近い生徒が県外に流出しています。首都圏との賃金格差/宮古では結婚できない昨年度(29年10月1日発効)の全国の最低賃金平均額は848円で、最高額は東京都が958円です。ちなみに東北6県では岩手、青森、秋田の3県が738円と同一で、九州沖縄の737円と並んで最下位グループです。人口減と少子高齢化の進行のもとで若者の定住化が喫緊の課題となる中、その中心課題である「生活でき、結婚でき、子育てできる賃金」という課題に真官民挙げて取り組まなければなりません。

今春(3月)宮古市内の高校卒業生で就職希望者の就職内定率は90%台ですが、県内就職率は7割で3割近い生徒は依然として県外に就職しています。これは市内5校(宮古、北高、商業、工業、水産)の合計です。就職希望者数は167人で内定者数は163人。内定率はほぼ100%近いですが、内定先をみると県内が102人、県外が61人で37%の生徒が県外に出ていくこととなります。大震災後、県内就職志望が高



「ムニエルを作って妻に出すたでば。音なしで喰ったがえ(いいぞ!)」

6月3日消大演習の日、西が丘の釣り吉は薬師川に入溪。朝5時半到着。エサは当然チョロ虫。竿6・4mの軟調竿で脈釣り。対岸にも柳の木などが垂れ下がり、水面近くまで枝が延びている。極めて釣りにくい。だからこそ挑戦に値するポイントで上流3ヶ所から流し込み、エサを沈める。3度目の投入で鋭い当たりが。竿を立て約40秒か。ヤマメが水面に顔(口)を出す。3匹の見事な奴。午後3時までで11尾。

